

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	令和4年度 第3回安曇野市公民館運営審議会
2	日時	令和5年3月24日 午後1時30分から
3	会場	安曇野市役所 大会議室
4	出席者	羽重会長、高橋副会長、安藤委員、中澤委員、望月芳雄委員、中田委員、鈴木委員、青柳委員、一志委員、青木委員、望月みどり委員
5	市側出席者	矢口教育部長、中央公民館深澤館長、豊科公民館鈴木館長、穂高公民館早川館長、三郷公民館藤松館長、堀金公民館山田館長、明科公民館安井館長、中央公民館遠藤主事、吉田主事、金井主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年4月6日

協 議 事 項 等

会議の概要

- 1 開 会 高橋副会長
- 2 あいさつ 羽重会長、矢口教育部長
- 3 協議事項
(1) 令和5年度公民館事業計画について
- 4 その他
(1) 「第2次安曇野市総合計画 後期基本計画（案）」に関するパブリックコメントについて（実施結果）
(2) 各地域のコミュニティスクール事業のチラシについて
- 5 閉 会 高橋副会長

協議事項

- (1) 令和5年度公民館事業計画について（説明：各公民館長）

【委員】

令和5年度の新地区公民館長が決まった。今年は運動会等の事業が開催できるか未定である。明科の宮中区の中耕地では101件の内、42件が70歳以上の世帯なので、選手を集めるのが困難。分館対抗が難しくなっているため、考えていただきたい。

現在、県と市町村が協働で行っているデジとしよ信州にて、スマホでデジタル図書を貸出している。利用者は40代～60代に多いが、70代以上はなかなかいない。デジとしよ信州は、若い人たちや免許証を返納してしまい、図書館に来られないお年寄りが図書館を活用できるように始まった事業である。スマホを使いこなせるよう、ICT講座は今後も続けてほしい。

【事務局】

R4は堀金公民館のみが運動会を開催。豊科では代替案としてロゲイニングを行った。明科はウォーキング大会を自由参加で行った。運動会は4年間のブランクがあり、リスタートは難しいため、豊科を参考に自由参加のロゲイニングの開催を検討している。

スマホ講座を開催する際に、アプリの入れ方や本の検索方法も扱うことができるので、ぜひ参加していただきたい。

【事務局】

中止が続いたものを再開させるのは難しい。コロナ禍の中でできることは何かを考えながら、体育部の協力のもと、R4は運動会を開催できた。R5は社会教育法の第20条の目的、第23条の運営方針を提示し、できることをやっていく。運動会の種目に関しては、高齢者の方々に向けた種目や、役員だけでできるような簡単な種目を用意した。また、スポーツ少年団の団体の種目も設けた。強制はしないでできることを実施していく。以前は昼過ぎまでやっていたが、来年度は11時30分ごろに終了するよう検討している。

【委員】

先日開催された、安曇野市の総合芸術展及び芸能フェスティバルの来場者数をお聞きしたい。

【事務局】

芸能フェスティバルについては、100人前後が随時会場にいた。出演者によって会場の出入りがあるため、延べ人数はより多くの方に来場していただいた。総合芸術展につきましては、661人の方に来場していただいた。

【委員】

地区公民館建設事業補助金はどのような場合活用できるのか。

【事務局】

現在の対象は、新たに地区公民館を建てる場合、既存の地区公民館の全部を除去して新たに地区公民館を建てる場合、既存の地区公民館に同じ用途の建物を接続又は隣接し、床面積を増加させる場合、既存の地区公民館の大きさを変えずに建物の一部を除去等し、引き続き用途、規模及び構造の著しく異なるものにする場合といったものが対象となる。また、水洗化工事、耐震診断、耐震補強工事も対象となる。

現在、修正を加えてもう少し分かりやすい内容に作り変えている。例年、地区公民館建設事業補助金の説明を4月の区長会で行っているが、改めて変更箇所を説明する予定である。

大きな変更点として、明科地域の公民館については既存の補助金額に10%加算した額を交付する方向で考えている。

【委員】

畳替えや厨房の備品などは対象にならないのか。

【事務局】

備品は対象にならない。備品はひっくり返した際に落ちるものだと考える。畳替えは改造や改築の内容に畳が含まれている場合に対象としているので、今後もそのような場合は対象とする考えである。

【委員】

各公民館の年間行事の予定を市民タイムスへ提出していただくと、より多くの人が行事を知ることができる。このように市民タイムスを活用することはできないのか。

【委員】

市民タイムスではいつ何の事業を行うか掲載している。新聞は読んだら資源ごみに出してしまうので、行事があるたびに掲載してほしい。行事が開催される直前にどこの公民館で開催されるのかを提出していただく方が良いのでは。

【事務局】

市民タイムスは多くの人に読まれていて、情報を伝える効果が大いことは感じている。しかし、掲載してほしいけれどもなかなか掲載されない地区公民館もある。

【事務局】

市民タイムスに掲載されると反響が大きいため、記事を掲載してもらえよう連絡を取っている。地域のバランスも考えて載せる等ルールがあるため、必ず掲載されるわけではないが、今後も積極的に活用していきたい。

【事務局】

市民タイムスはもちろん、市の広報も見ていただきたい。市の広報には月1で各公民館に行っている事業が掲載される。

【事務局】

講座が開催していることをどこで知ったのかアンケートを実施したところ、10人中9人が広報を見て参加したと回答をいただいた。チラシや市民タイムスを見て知ったという方もいましたが、主に広報が参加のきっかけになっていると感じている。

【事務局】

コロナの影響で、講座の参加人数に制限を設ける必要があった。スマホに関する講座は大変人気で、市民タイムスに掲載をするとすぐに定員に達してしまう恐れがあったため、掲載はしなかった。今後は様子を見ながら利用していきたいと考えている。

【委員】

各公民館の年間計画を市民タイムスやMGプレスに配っていただくことはできないのか。

【事務局】

基本的にプレスリリースをする際は、一斉に行う必要があるため、特定の団体のみに情報を出すことは難しい。講座の情報は広報やLinkに掲載されているため、今後も皆様へ情報共有を行っていく。

【委員】

安曇野市の公民館活動は活発だということが、住民に伝わるような方法を考えてほしい。

【事務局】

周知方法につきましては、引き続き検討していく。